

テーマ

区別と差別

十条富士見中学校

第二学年

生徒

I (一)のテーマの記事を選んだ理由を書いてください。

私が小学校五年生のとき、「なんで女には更衣室があるのに男は教室で着替えなければいけないの、そんな差別は先生に訴えた男子がいました。先生はクラス全体に向かって「水着を思い返してみて。女子は男子より臆々なくしゃい所ないところが多いかと更衣室があるんだよ。それは差別じゃなくて区別」といいました。私はその言葉に当たり前と聞いていたが、心には何かかきこえた感じがしたのを覚えていて、新聞コンクールを書くにあたり、新聞に目を通していたら、2つの記事を見つけ、先生のはなしにつながるものがあるのではないかと興味をもちました。

II 比べる記事のそれぞれの内容について分かったことを書いてください。

①について女性と男性の体のちがいがらお二つトイレ問題について書かれている。トランス女性の女性トイレの使用を許可することは体と心が一致している女性にとって不安になること。男性がトランス女性だと主張すれば女性トイレを使用できるという誤解がおきてしまうことなど、女性トイレの使用についての問題や政府の対策が記事になっている。

②について不祥事などが起きたあと、会社が不安定になったとき、女性カリーターに指名されやすい現象を指す言葉「ガラスの崖」について書かれている。女性はコミュニケーション能力が高く、優しいというところから危機境地に求められるカリーター像と一致するという考えも背景となっている。フレキシブルに耐えられない女性も多いためから、カリーターになっても周囲が支え崖からの転落を防ぐことが必要だと書かれている。

①と②を比べて分かったこと、自分で調べてみたいこと。

①と②は共通して女性と男性をわけることで起こる問題について書かれている。しかし①は体の違いによる区別②は女性のイメージによる偏見(差別)で男性と女性かわけられていると聞け、どうしたら区別に与える問題も差別による問題も解決できるのか考えていきたい。

III テーマについて、自分の考えや他の人と交流をして気付いたこと、調べたこと、提案などを書いてください。

この二つの問題を解決するには根本的な考えを深く知ることが大切だと思う。なぜなら古くからある考えには不確かなことを決めつけているものや根拠のない差別がおこなわれていることがあるから。そこで私は今は男女をわけるのか考えることにした。それは男女では体つきや体力で生まれつき違いがあるからだ。その違いは生き物が生きていくうえで必要なことだし、あきらめなくてはならない問題で、それにより区別にあたる。①の問題はそういう意味で解決するのは困難である。なので私はこの問題をどうしたらトランス女性が女性トイレに入れるようになるかはなくトランス女性が凸凹したと不快な気持ちにならずに過ごせるかを考えるべきだと思う。例えば男性用トイレと女性用トイレの他に男女をわけても入れられるトイレを設けることだ。そうすることでトランス女性も男性も入りやすくなるし、男の子をもつ母親やその産の人たちも入りやすくなるのではないかと。③の問題は区別と差別をきちんと理解して、他人が悩んでいるから起きてしまっているのではないかと。女性の中にもコミュニケーションが上手ではない人っている。男性の中にも優しく、おたやかな人っている。危機感を女性にまかせるとはなく、その場に合った人を選んで支えていく必要があると思う。今の世の中には昔の偏った考えを交えることが必要となっている。自分かそのためにもこんなことができるかを考え、行動していきたい。